

既存建築ストックの再生

近年、地方都市では既存建築ストックの遊休化が問題となっており、今後も増加することが予想されます。

都市政策、まちづくりの観点からも既存建築ストックを建築技術で再生していくことは、積極的に取り組む課題の一つだと考えます。

そして建築主は「新旧が織成す整然とした空間」で写真スタジオをオープンすることを希望されました。

経年変化がもたらす大家石と鉄骨の素材感、人工的に作り上げる事の出来ない貴重なもので「新旧が織成す整然とした空間」を構成する重要な要素と考え、最大限既存の躯体を活かした計画としました。

倉庫の外壁に大きな開口の窓を設け、本来、閉鎖的空間である倉庫を地域に開かれた空間として再創出し、「新旧が織成す」まちづくりを目指しました。

Before



After

